

ヤスハラケミカルは、人や環境にやさしい天然素材の原材料を活かした製品を開発・提供することはもとより、資源調達から製造、流通、販売まであらゆる企業活動において環境への配慮を行うことで、持続可能で豊かな環境づくりに貢献していきたいと考えています。

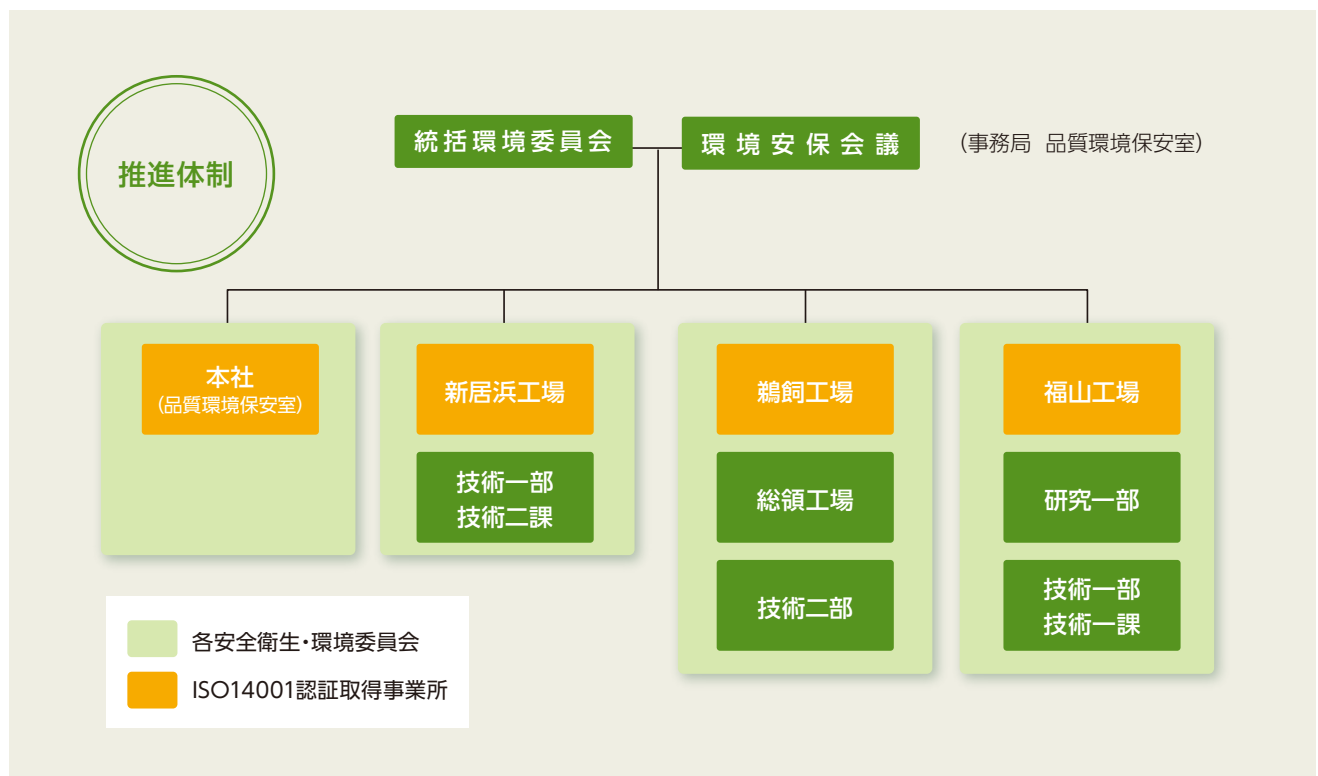
《 環境・安全に関する基本方針 》

- 1 天然物の有効活用による安全で環境負荷低減型製品の開発により、各産業分野における地球環境保護(省資源、リサイクル、健康有害物の排除など)の推進に貢献する製品を提供することで社会に貢献します。
- 2 製品の開発から廃棄に至るまでのライフサイクル全般にわたり、環境負荷の低減を図り、環境保護に努めます。
- 3 無事故・無災害の操業を継続し、従業員と地域社会の安全を確保します。
- 4 原料、製品の安全性を確認し、従業員、物流業者、顧客など関係する人々への健康障害を防止します。

全従業員は、この方針の重要性を認識し、法令、規格及び社内ルールを順守するとともに、常に改善に努力すること。

2006年5月2日

ヤスハラケミカル株式会社 代表取締役社長 安原 禎二



目標達成状況

2017年度の具体的目標と実績

ヤスハラケミカルでは、各工場での環境目標を数値設定、励行することで、事業活動全体における環境負荷の削減を推進しています。

環境活動の目標と実績				
活動テーマ	2017年度目標	2017年度実績	評価	2018年度目標
環境マネジメントシステム (EMS) の推進	EMS認証取得3工場の認証維持	EMS認証取得3工場の認証維持、2015年版への移行	◎	EMS認証取得3工場の認証更新
省エネルギーの推進	エネルギー原単位前年度比1%削減	エネルギー原単位前年度比0.8%増加	×	エネルギー原単位前年度比1%削減
温室効果ガスの排出削減	CO ₂ 排出原単位前年度比1%削減	CO ₂ 排出原単位前年度比9%削減	◎	CO ₂ 排出原単位前年度比1%削減
産業廃棄物の削減	産業廃棄物排出原単位削減	産業廃棄物排出原単位前年度比13%削減	○	産業廃棄物排出原単位削減
	廃棄物排出量削減	廃棄物排出量前年度比18%削減	○	廃棄物排出量削減
化学物質の適正管理	PRTR排出量削減	PRTR排出量前年度比5%削減	○	PRTR排出量削減
	化学物質リスクアセスメントの継続実施	化学物質リスクアセスメントの実施	○	化学物質リスクアセスメントの継続実施
災害・事故	休業災害・事故ゼロ	休業1件	×	休業災害・事故ゼロ
環境・社会報告書発行	年1回発行	6月発行	○	年1回発行

◎目標を大幅に超えて達成 ○目標を達成 ×目標を達成できなかった



COLUMN

自家燃料ボイラーによる省エネ (福山工場)

福山工場では、省エネルギーを目的に自家燃料ボイラーを2016年に1台、2017年に2台、合計3台設置しました。これにより、生産プロセスから発生する副生油を蒸気ボイラーの燃料として有効活用できるようになりました。その結果、既存の重油ボイラーの稼働を抑えることができ、エネルギー原単位で約9%の減少が見込まれます。



2016年の1台目から設計・工事に携わっています。2017年には、副生油のさらなる有効活用のため、2台追加しました。追加するにあたり、1台目で生じた設計上の課題を改善するとともに、現場の声も反映しました。現場のみなさんが使いやすいよう、さらなる安定稼働に向けて努力していきます。

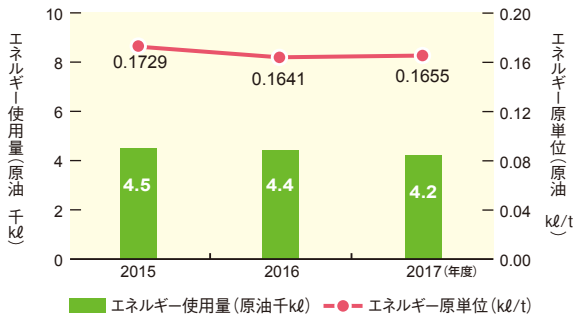


福山工場製造課 田邊 豊彰

事業活動における環境配慮への取り組み

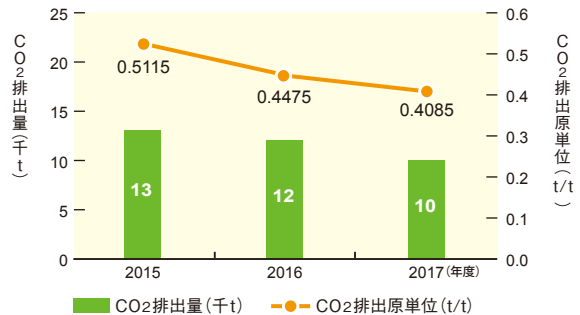
エネルギー使用量

2017年度は設備合理化や原料蒸留残渣のボイラー燃料活用等によりエネルギー使用量は減少しましたが、一部製品の生産量減少等によりエネルギー原単位は前年度比0.8%増加しました。引き続き省エネルギーに努めます。



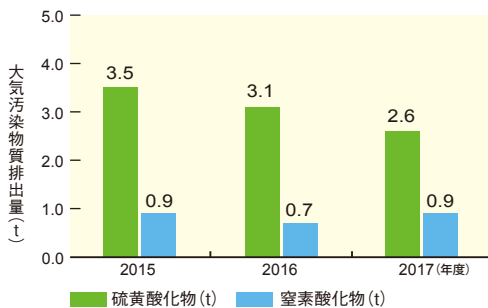
CO₂排出量

2017年度は原料蒸留残渣の活用等による燃料使用量削減の結果、CO₂排出原単位は前年度比9%減少しました。引き続きCO₂排出削減に努めます。



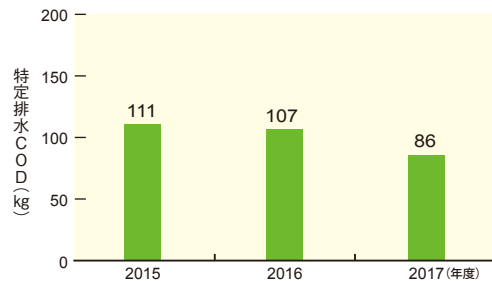
大気汚染物質の排出量

2017年度は2015年度から実施している低硫黄燃料への転換を継続し、硫黄酸化物排出量は減少傾向となっています。引き続き大気汚染物質の排出削減に努めます。



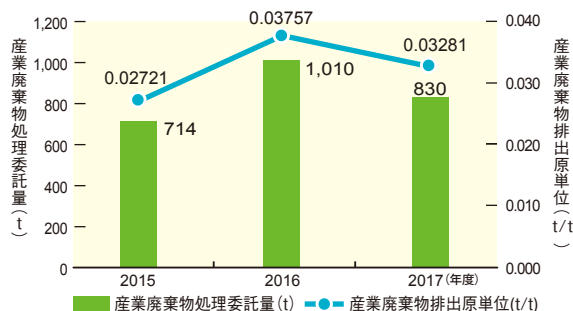
水質汚濁物質の排出量

2017年度は設備合理化をさらに進め、COD負荷量は前年度比20%減少しました。引き続き水質汚濁物質の排出削減に努めます。



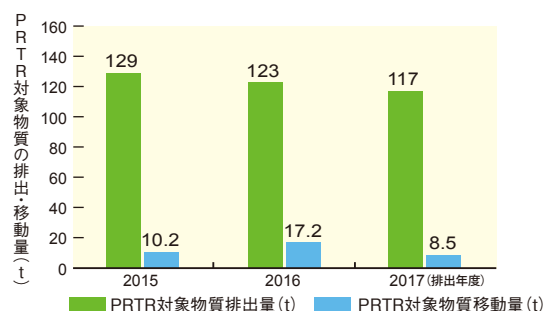
産業廃棄物処理委託量

2017年度は一部製品の生産量減少等の影響により産業廃棄物が減少し、産業廃棄物排出原単位は前年度比13%減少しました。引き続き産業廃棄物削減、有価物への転換等に努めます。



PRTR対象物質の排出・移動量

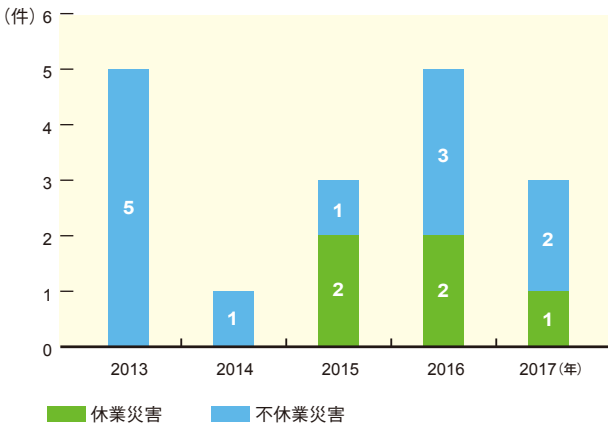
2017年度は一部製品の生産量減少等の影響により、PRTR対象物質排出量は前年度比5%減少しました。引き続きPRTR対象物質の排出・移動量の削減に努めます。



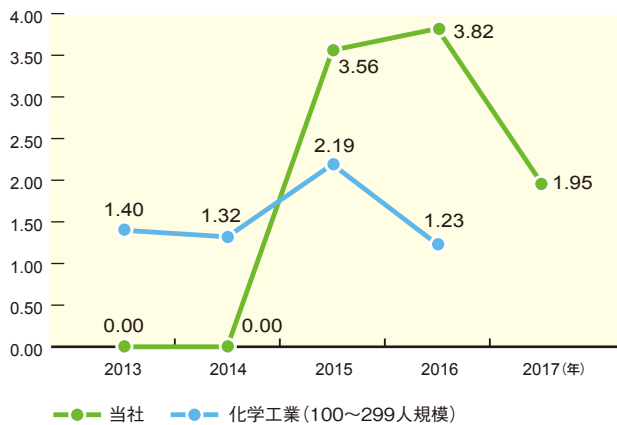
安全衛生への取り組み

ヤスハラケミカルは、安全を最優先に事業活動を行い、安全、健康そして快適な職場づくりに取り組んでいます。

労働災害発生件数の推移



休業災害度数率の推移



※度数率は、100万延べ実労働時間当たりの労働災害による死傷者数で、災害発生頻度を表す。
 ※出典：厚生労働省「平成28年労働災害動向調査(統計表)一般産業第2表」(平成29年10月3日公表)

安全衛生表彰

永年にわたり安全衛生活動と災害防止活動に努めたことが評価され、次のとおり工場や個人が関係団体から表彰されました。

表彰日	表彰対象	表彰内容
2017年5月19日	福山工場 門田 敏則	福山・笠岡地区 特別防災区域協議会 個人表彰
2017年5月25日	新居浜工場 京野 英昭	日本ボイラ協会愛媛支部長表彰 優良ボイラー技士 表彰
2017年7月7日	福山工場	広島労働局長表彰 奨励賞
2017年11月17日	新居浜工場 倉上 剛憲	日本ボイラ協会 優良ボイラー技士 表彰

安全衛生・環境に関する資格の保有者数

当社では、安全衛生・環境に関わる資格の積極的な取得に努めています。

法的に定められた選任者は充足していますが、新入社員をはじめとした若手従業員を中心に資格取得の推進を図り、スキルアップにつなげています。

資格名称	保有者数(名)
	2017年度
公害防止管理者	12
エネルギー管理士	18
衛生管理者	21
特別管理産業廃棄物管理責任者	10
ボイラー技士・整備士	44
危険物取扱者	180
消防設備士	24
高圧ガス製造保安責任者	52

※延べ人数



広島労働局長表彰 奨励賞を受賞して

2017年7月、安全衛生活動が活発に行われていることが認められ、福山工場として広島労働局長より奨励賞を受賞しました。

働く人の安全を確保した、快適な職場環境が評価され、大変名誉なことと思います。これは福山工場が掲げている「安全・安心に働くことができる工場」という点からの日頃の取り組みが評価されたものです。今後も安全衛生水準を向上させる活動を積極的に推進していきます。



福山工場 工場長 藤岡 辰樹